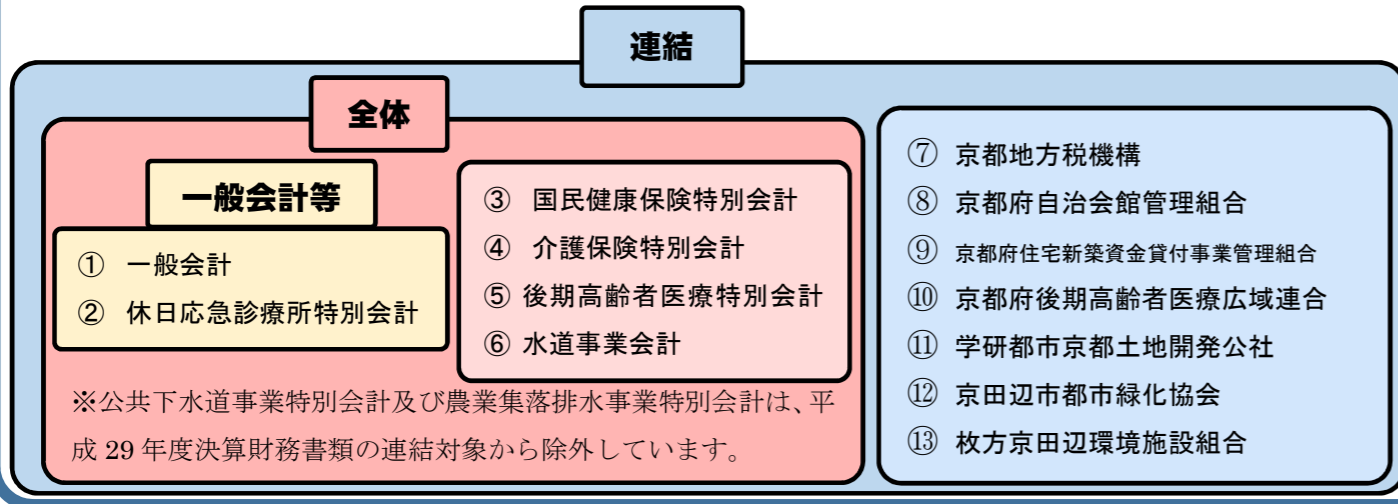


# 統一的な基準による財務書類4表【概要】

京田辺市では発生主義・複式簿記の考え方をういた統一基準による財務書類4表を、以下の連結範囲で公表することとします。【基準日平成30年3月31日】



## 貸借対照表（普通会計）

どのような資産を、どのような負担で蓄積したかを表すものです。 単位：億円

借 方				借 方			
区 分	一般会計等	全体	連結	区 分	一般会計等	全体	連結
<b>● 資産の部</b> 将来の資金流入をもたらすもので、行政サービスの提供能力を有するもの。				<b>● 負債の部</b> 地方債や将来支払われる職員の退職金など、将来世代の負担で返済していく債務です。			
固定資産	898	1,106	1,118	<b>● 純資産の部</b> 資産の形成に対して、市税などを通して現在までの世代が既に負担してきた部分です。	256	301	305
流動資産	877	1,034	1,041		642	805	813
	21	72	77				

### POINT

- ・資産は、一般会計等で898億円となり、市は基準日時点でこれだけの資産を所有していることとなります。
- ・一方、資産形成にあたり将来世代に先送りした負担を示す負債は約256億円、過去及び現役世代がすでに負担した純資産は642億円となりました。
- ・以上のことから、本市では社会資本の形成に関して、将来世代の負担分は約29%程度となっており、資産形成の約71%を過去及び現役世代で負担したことになります。

## 行政コスト計算書

1年間の行政サービス提供に要したコストから収益を差し引きして、正味の行政コストを表しています。 単位：億円

区 分	一般会計等	全体	連結
● 経常損益 C (B-A)	△ 208	△ 319	△ 386
経常費用 (A)	222	345	413
通常の行政サービスの提供に要した費用で			
経常収益 (B)	14	26	27
通常の行政活動に伴い生じた収入です。			
● 臨時損益 D (E-D)	5	4	4
臨時損失 (D)	1	2	2
災害等臨時的に発生した費用です。			
臨時利益 (E)	6	6	6
売却益等臨時的に発生した収入です。			
● 純行政コスト (C+D)	△ 203	△ 315	△ 382
一年間の行政サービス提供コストから収益を差し引いたもので、正味の行政コストを示すものです。			

### POINT

- ・純行政コストは一般会計等で203億円となりました。
- ・住民1人当たり（平成30年1月1日現在住民基本台帳人口）の行政コストは、295千円となりました。

## 資金収支計算書

市での現金取引を3つの主要な活動に分類し、現金の増減とその残高を明らかにしています。 単位：億円

### POINT

- ・一般会計等では、業務活動収支で10億円の黒字となったものの、投資活動収支で4億円、財務活動収支で6億円のそれぞれ赤字となったことから、29年度末資金残高は増減なく、5億円になりました。
- ・利息支払分（約2億円）を除く業務活動収支と投資活動収支の合計である基礎的財政収支（プライマリーバランス）は約8億円の黒字となりました。

## 純資産変動計算書

1年間の純行政コストと税金などの一般財源を比較することで、コストがまかなえているか、純資産がどう変動したかを示します。 単位：億円

区 分	一般会計等	全体	連結
● 期首(28年度末)純資産残高	632	791	799
● 本年度差額	△ 3	△ 1	△ 1
● 純行政コスト(△)	△ 203	△ 315	△ 382
当年度の行政サービスの提供に必要なコストです。			
● 財源	200	314	381
市税、国や府の補助金など、純資産の増加要因となるものです。			
● 固定資産等の変動等	13	14	14
● 期末(29年度末)純資産残高	642	804	812

### POINT

- ・一般会計等では、行政コスト203億円に対して、財源が200億円となり差し引き3億円のマイナスとなりました。
- ・固定資産等の変動等により13億円増加したことにより、29年度末純資産は642億円となり前年度末残高より増加しました。

区 分	一般会計等	全体	連結
● 期首(28年度末)資金残高	5	54	58
● 当期変動高	0	△ 1	△ 2
業務活動収支	10	16	14
市が行政サービスを行う中で、毎年度継続的に行われる収入、支出の合計です。			
投資活動収支	△ 4	△ 10	△ 10
道路・学校などの資産形成や、投資、貸付金などの収入、支出の合計です。			
財務活動収支	△ 6	△ 7	△ 5
地方債等の借入収入や返済に対する支出の合計です。			
● 期末(29年度末)資金残高	5	53	57